



学校だより

令和3年6月30日

# ひびき 7月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

## 新しい学びのかたち

副校長 斎藤 忠雄

小・中学校の児童・生徒向け一人一台端末、高速ネットワーク環境を一体的に整備するという文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づいて、横浜市教育委員会主導により市内の小・中学校では、今後の運用開始に向け、準備を進めているところです。

御存知の通り、GIGAスクール構想は従来の学校ICT環境整備と比べて、児童・生徒一人一台端末、一人一アカウントによるクラウド利用など、これまでになかったことが盛りだくさんです。その上、新型コロナウイルス感染症に伴う学びの保障とも相まって、休校時を想定したオンライン授業の要素が追加され、急ピッチで整備が進められている段階です。

現時点ではまだ整備段階ではありますが、本校の授業において、試験的に少しずつ利用を試みています。例えば6年3組の国語の授業「時計の時間と心の時間」では、児童一人ひとりが自分の意見を書いたノートを端末で写真撮影し、端末内ロイロノートの指定されたフォルダに写真を入れることで、瞬時に児童全員のノートが一覧に集約され、お互いの考えを端末内で確認し合いながら意見交換を行う学習活動が展開されました。発表している友達の意見（ノート）を手元の端末で何度も確認できる。自分と同じ意見か、異なる意見か、すぐに確認できる。そのような活動を行いながら話し合いを進め、意見交流によって話し合いが深まる場面が見られました。このようにGIGAスクール構想は新しい授業スタイルや学びの方法など、様々な可能性を秘めています。

効率的・効果的な利用につなげるためにGIGAスクール構想で整備する端末・ネットワークも、ねらいや操作方法、特徴、運用ルール、メディアリテラシーなどを十分に理解した上で活用することが必要になります。今後、新型コロナウイルスの感染が終息を迎える頃には、これまで大切にしてきた顔を合わせて行う直接コミュニケーションによる学習活動と、GIGAスクール構想によるICT技術を効果的に融合させることで、よりよい教育活動が展開できればと考えています。



学校生活の様子を学校HPで発信しています。ぜひ、ご覧になってください。

【獅子ヶ谷小学校ホームページ】

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shishigaya/>